

デジタルサイネージ ジャパン 2015 出展製品のご案内

今回の出展のキーワードは、

“1台によるシステム完成” 近未来の高画質をいち早く提供

「皆様のご来場をブースにて心からお待ちしております。」

メディアインテグレータ

MI-2100

“出力 I/F に新しく
3G/HD/SD-SDI とアナログ音声を追加”

入力時に I/F 変換、FS 対応、
出力時に I/F 変換、SC 対応により出力します。
今まで必要であった周辺機材が不要となり、実装スペース、ラック内配線、消費電力が格段に少なくなります

- 入出力総計で 68 チャンネルのデジタルマトリックススイッチャ
- 入力は DVI(HDCP 対応)、3G/HD/-SDI、VGA/コンポーネント、コンポジットから選択
- 最大解像度 2048 × 1200 まで対応
- デジタルやアナログ音声に対応
- 入力映像プレビューが可能



4K 対応液晶モニター

DM-3413 DM-3409-A DM-3432

“綺麗をそのままに表現”

没入感を感じることが出来、
あたかもその場所にいるような擬似体験が得られます。

- DM-3409-A/DM-3413 は、4K 信号波形確認用の機能付きです。
(ウェーブフォームベクトルスコープ、ヒストグラム、等)
- 対応インターフェース
DM-3409-A/DM-3413 は、3G-SDI に対応
DM-3432 は、DVI-D、デュアル DVI、及び 3G-/HD-SDI に対応
- マルチカラースペース対応 (YPBPR、RGB、XYZ)
- ユニフォーミティ回路搭載で液晶パネルの輝度ムラを低減



4K ポータブル SSD レコーダー

HR-7510

“キャノン社製 CINEMA EOS C500 に対応”

非圧縮収録・リアルタイム RAW 現像で 4K モニタリングを実現。

- 4K × 2K RAW 60p / 4K × 1K Half RAW 120p
- 2K RGB4:4:4 12bit 60p / 2K YCBCR 4:2:2 120p
- リアルタイム RAW 現像
撮影中の映像をリアルタイム RAW 現像でモニタリングできます。
- データ転送
ファイルベースワークフローで最も気になるデータ転送を高速化しました。



8K/4K SSD ビデオレコーダー

HR-7512-C

“4 台同期運転で 8K に対応”

簡単録画、簡単再生、短時間表示、を提供します

- 入出力の I/F は SDI (3G 対応)、または DVI から選択 (発注時指定)
- ストレージデバイスとして SSD (Solid State Drive) を採用
- フルスペック 4K 映像信号を非圧縮で録画・再生が可能
- eSATA ボードで PC と接続し、ファイルでの映像読み出し・書き込みが可能
- 電源起動後 10 秒以内で再生が可能



8K/4K クロスコンバータ

SC-8209-A

“8K 4K 2K が思いのままに”

あらゆる映像を自在にアップ / ダウンコンバート可能

- HD 映像、4K 映像を DG-SGV 映像にアップコンバート。
- DG-SHV 映像を HD 映像、4K 映像にダウンコンバート。
- DG-SGV → 4K 変換では、4K ダウンコンバートの他、4分割(左上/右上/左下/右下)及び、中央切り出し出力が可能。
- 任意の設定をプリセットすることで容易な操作が可能。異なる入力設定を複数登録すると、スイッチャーとして操作することが出来ます。



4K インターフェースコンバーター

SD-7073

“究極な究極の変換コンバーター”

入力インターフェースの 3G/HD-SDI と HDMI を出力 インターフェースの 3G/HD-SDI と HDMI、DisplayPort に変換可能な装置です。

- RGB から YCBCR などのフォーマットと変換が可能
- 24fps から 60fps などのフレームレート変換が可能
- HD → 4K、4K → HD などの UP、Down コンが可能
- 田の字や短冊などの分割変換が可能

